

事業所名

ロイヤルスクエア枚方公園

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		1. 「安全」 2. 「おもてなしの心」 3. 「チームワーク」 4. 「チャレンジ精神」					
支援方針		①コミュニケーション能力の構築 ②自己肯定感を育む ③学習能力の向上 ④保護者、子どものニーズの対応 ⑤安全の確保					
営業時間		10時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	ご利用のごとに検温、視診、手洗い、消毒、送迎時の様子把握、連絡帳のチェックを行っています。ロイヤルスクエアのプログラムに添いながら生活リズムを整えます。午睡は必要に応じて行います。健康な心身を育み、常に状態を把握して小さなサインも見逃さないよう、丁寧に見守ります。生活に必要な基本を獲得を目標に食事、衣服の着脱、排泄、睡眠、身の回りを清潔にすることを身に付けられるよう、生活の場面においての工夫を行います。					
	運動・感覚	理学療法士による運動療育を取り入れ、子どもたちへのオピニオンを個別にいただいています。オピニオンは連絡帳で保護者にも伝え共有します。運動療育は個別に誘導やお手伝いをしながら無理なく運動を楽しんでもらえます。運動療育の前には理学療法士と職員が綿密な打ち合わせをします。姿勢の保持や上肢下肢の運動動作の改善、身体機能や感覚の統合、環境適応力の向上をめざします。					
	認知・行動	施設内の予定表、脳バランサーキッズの名札やルールを個別に集団活動などを理解しながら認知していき、動けるようになるための言葉がけや促しをさせていただきます。時間の通知や確認をもらいながら次の活動に見通しをたてて自発的な行動ができるように支援していきます。玩具、工作、絵画、ペーパークラフト、手芸、アレクサなどを自由に選択して認知し行動する事ができる環境の提供をします。					
	言語 コミュニケーション	友だちや職員と自由遊びや集団活動、クッキングや工作などを通して関わりを持ちながら言葉の使い方や態度などを学び人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得をめざします。コミュニケーションをとる言葉や表情の作り方、個々に合った伝達方法などを探しながら職員が仲立ちとなり支援をさせていただきます。コミュニケーションを円滑に行うためには伝えようとする側と受け取る側との人間関係や状況の把握をして適切にお手伝いさせていただきます。					
	人間関係 社会性	年齢や個性に応じた、来所時の挨拶から始まり「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える環境を提供しています。目を見て（相手の方を向いて）伝えることの大切さも知ってもらいます。集団遊びや個別遊びををしながら異年齢と交流活動も取り入れ、子どもたちが自然に折り合いをつけながら協力してものごとに取り組めるように支援させていただきます。自身の情緒の安定が不可欠なので静かな環境の提供やゆっくり話を聞く時間をとっていきます。					
家族支援		児童発達支援管理責任者、専門士による面談を毎月、4日間開催しています。その他、随時面談、家庭訪問を行っています。運動療育参観、就労支援事業所説明会等		移行支援		就労支援事業所を招いての説明会や進路相談会、子どもたちも大人のお仕事と題して事務作業をしています。年齢や個性に応じて文字、計算、すらの導入をしています。	
地域支援・地域連携		ロイヤルスクエア枚方公園入居マンション全体の避難訓練、毎月事業所の避難訓練。老人訪問支援施設「こもれび」とバザー交流。保育園児と遊びの交流会、休日のイベント体験。		職員の質の向上		各月のロイヤルグループ研修会に参加。毎月のロイヤルスクエア枚方公園内で職員研修会に参加。理学療法士による運動療育研修会。	
主な行事等		クッキング、工作、春の運動会、お花見会、いちご狩り、ダンボールアート、消防署見学、警察署見学、夏祭り、ボリング大会、カラオケ大会、魚釣り、ランチビュッフェ等					